

うみぼす甲子園 2023 & うみぼす 2023

日本財団「海と日本 PROJECT」の一環で実施している、海洋連盟主催の高校生のポスター&プレゼンコンテスト「うみぼす甲子園 2023」で、全国各地の高校生から 200 以上の作品を超える応募の中から、久米島高校「くめじまーんちゅ♥」がファイナリスト 14 チームに選ばれ、11 月に東京都で行われた決勝大会で「清野聡子つながりづくり賞」を受賞しました。

また、地元の海を PR するポスターコンテスト「うみぼす 2023」では、2500 を超える応募の中から、ポスター一般の部で久米島高等学校の生徒が「海と日本 PROJECT 沖縄エリア賞」に輝きました。

作品やうみぼす甲子園決勝大会の様子は、以下のHPからご覧いただけます。

- うみぼす HP <https://umipos.com/>
- うみぼす甲子園 HP <https://umipos.com/koshien/>

うみぼす甲子園 2023



決勝大会プレゼンの様子

清野聡子つながりづくり賞

久米島高等学校 くめじまーんちゅ♥

(写真左から)

宮本 まひる、吉田 奈帆、三次 日和、内田 天

今回参加したうみぼす甲子園では、決勝進出のファイナリスト賞とともに審査員特別賞を受賞することができました。私たちは久米島町の抱える赤土問題についてのプレゼンを行いました。これらのプレゼンでは赤土について悪いことだけではなく染め物や焼き物の原料に使われていたり等、悪いところばかりではないということもお話しました。そしてその点を大きく評価して頂いたのではないかと私は考えています。発表したプレゼンは久米島町のみなさんの気持ちが全て詰まったものでした。受賞することができたのも、みなさんのお力があってのことです。また、参加してみてプレゼンの仕方や他の地域の海問題についても学べたりなど、これからの活動の糧になるものがたくさんありました。たくさん応援とご協力ありがとうございました!!

うみぼす 2023



海と日本 PROJECT 沖縄エリア賞

ポスター部門 一般の部 久米島高等学校 2年 小川 友歌

はいたい! 久米高2年、じんぶん館9期生の小川友歌です!

私のポスターのコンセプトは「JK から学ぶコロナ禍の生き方」です。コロナに生きた生活はとてもじゃないけど悲観的。密です! とソーシャルディスタンスで距離が生まれ、なんだか寂しかった中、今年はコロナによる制限も緩和され、やっと本格的な高校生活が始まりました。がっつり飛んで、がっつり笑って、がっつりアオハル。その一瞬を久米島の綺麗な海と笑顔で表現しました。いっぺーにふえーでーびる♡かなさんどー♡

入賞 ポスター部門 一般の部
久米島高等学校 1年 中岡 聡海



人間国宝の中村一雄さんと沖縄県伝統工芸士新垣清昂さんが三線を寄贈

人間国宝の中村一雄さんと、令和 2 年に沖縄県伝統工芸士として認定された新垣三線店の新垣清昂さんが、記念品として、久米島町役場を訪れ桃原町長へ三線の寄贈をしました。

三線が完成するまでのどんな作業にも一切手を抜かない新垣さんの三線の音色は格別です。

久米島町民一人でも多くの方が三線を弾いてほしいという思いが込められています。

